平成 28 年度 グローバル協力センター 「グローバル社会における平和構築のための大学間ネットワークの創成 一女性の役割を見据えた知の連携―」事業による 平和構築分野における国際調査 募集要項

1. 趣旨:

グローバル協力センターは、グローバル社会における平和構築を目指し、先進国および開発途上国の大学等との国際的ネットワーク創成を目的として、「グローバル社会における平和構築のための大学間ネットワークの創成一女性の役割を見据えた知の連携一」事業を実施しています。本事業の一環として、本学の大学院生による国際調査活動を支援します。奮ってご応募ください。

2. 対象分野:

ポスト・コンフリクト地域の平和構築または開発途上国の人間の安全保障に資する国際調査

- * 女性、子どもの支援に関する分野、大学間の連携を促す目的の調査が望ましい。
- * 途上国のみならず、欧米諸国を拠点とする平和構築関連機関等の調査も可。
- * <u>平成29年1月31日までに終了</u>する調査を対象とします。

3. 対象者:

博士前期課程および後期課程に在籍する学生(休学中の者を除く)

- * 本プログラムへの申請件数は1人につき1件です。1件につき支援可能な渡航回数は1回です。
- * 平成 23 年度から平成 27 年度までに過去 2 回以上、本プログラムによる支援を受けている方は申請できません。応募者多数の場合は 1 回目の方を優先します。
- 4. 採用予定数:3件程度

5. 調査費用:

航空運賃、ビザ代、宿泊費を支給します。なお、<u>これらの費用の総額が20万円未満の場合は実費、20万円以上の場合は20万円</u>を本学の規定により支給します。航空運賃とは渡航期間限定のディスカウント航空運賃、又はそれに準ずるものをさします。宿泊費とは海外の調査地でのホテル等の宿泊費をさし、実費を支給します。但し、一泊当たりの宿泊費は本学の規定額を上限とします。支払いは、本人の立替払いの後、後日振込にて清算します。帰国後、会計関連書類(航空券半券、パスポート出入国印部分の写し、ビザ代と宿泊費の領収書等)の提出を求めます。

- * パソコンなどの備品、文房具などの消耗品費は対象になりません。
- * 現地移動費は航空運賃を除き、申請はできません。
- * 現地の通訳者等の費用は対象になりません。
- * 海外旅行保険はご自身で必ずご加入ください(支給する費用の対象とはなりません)。
- * 要望に応じセンターが保有する統計ソフト(SPSS)を貸し出すことができます。
- 6. 申請受付期間:平成28年4月28日(木)~5月27日(金) 17:00必着

7. 申請書類

以下の3点の書類をダウンロードし、グローバル協力センターまで提出して下さい。(メール・郵送不可)

- ・申請書(所定 Word フォーマット)
- ・予算内訳(所定 Excel フォーマット)
- ・日程表(所定 Excel フォーマット)
- *所定フォーマットは、グローバル協力センターホームページよりダウンロードして下さい。

(http://www-w.ao.ocha.ac.jp/intl/cwed/e20160428/)

*申請書類提出先、問い合わせ先

グローバル協力センター Tel: 03-5978-5546

メール: info-cwed@cc.ocha.ac.jp

8. 説明会

4月21日(木) 12:30~13:00 場所:グローバル協力センター室(学生センター棟 308室) 申請希望者は必ずご参加ください。

9. 選考及び結果の通知:

書類審査の通知 6月10日頃

面接審查 6月中旬

選考結果発表 6月下旬

採択された方は、7月上旬に開催される説明会に必ずご参加下さい。

10. 採択者の義務:

・調査終了後、<u>3週間以内</u>に報告書をご提出ください。(締切厳守。なお、報告書はセンターが発行する事業報告書に掲載し、ホームページ等を通じて公表します。)

ただし1月渡航の方は平成29年2月10日(金)までにご提出ください。

- ・国際協力、平和構築、大学間連携などを推進するメンバーとしてご協力ください。
- ・学内で開催する報告会で、調査結果を報告頂きます。

11. その他

- ・採択後、原則として申請内容の変更は認められません。
- ・調査にあたって倫理審査等が必要な場合は各自で渡航前までに申請して下さい。
- ・現地調査に関する安全情報の収集手段として、外務省の「領事サービスセンター(海外安全担当)」 の情報提供サービス等を活用して下さい。渡航前に「外務省海外旅行登録『たびレジ』」に登録し て下さい。

※たびレジ: https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/

グローバル協力センター長 浜野 降